

## 目次

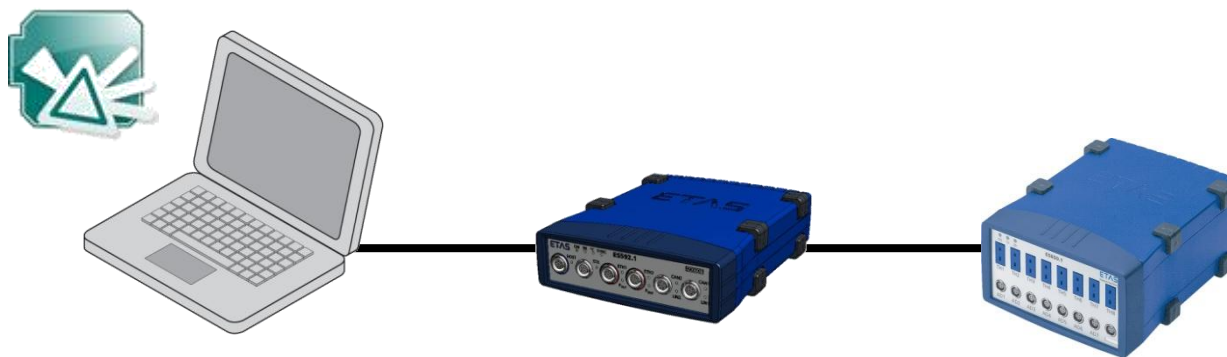
1. はじめに
2. クイックスタートガイド ～計測開始編～
  1. 計測画面までの流れ
  2. ワークスペースの設定
  3. ハードウェア構成の設定
3. サポートホットライン

## 1. はじめに

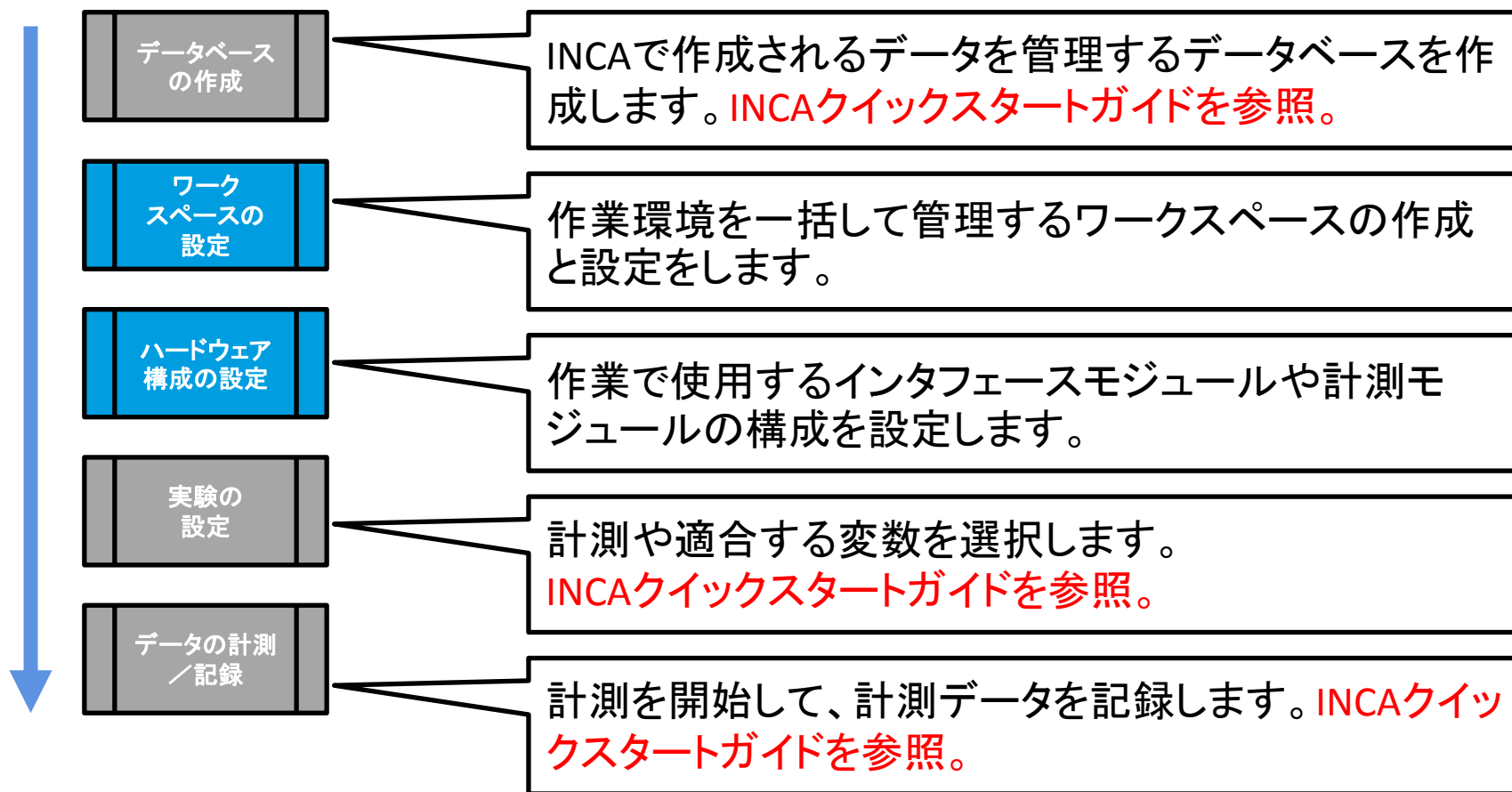
この資料は、アナログ電圧入力モニタ設定方法についての補足説明資料です。  
通常のINCAの操作概要についてはINCA V7.0クイックスタートガイドを参照ください。  
INCAに関する詳しい説明はマニュアルやオンラインヘルプを参照してください。

### ● 準備するもの

- ✓ INCAをインストールしたPC
- ✓ 使用するETASハードウェア（インタフェースモジュール、計測モジュール等）
- ✓ 使用する車両(またはセンサ)



## 2.1 計測画面までの流れ



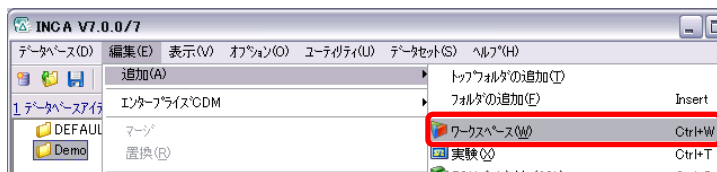
\*こちらは初期設定の流れになります。再度同じ環境で利用する際は、「実験の設定」から再開できます。

## 2.2 ワークスペースの設定

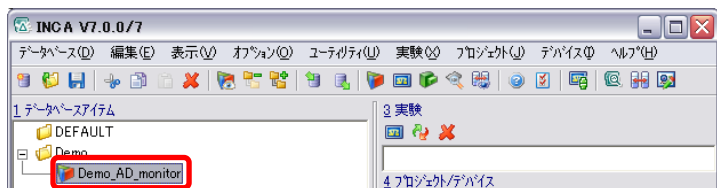
### ● ワークスペースの作成

1. 作成するフォルダを選択して、

「編集→追加→ワークスペース」を選択します。



2. 新しいワークスペース名を入力します。



3. ワークスペースが作成されます。

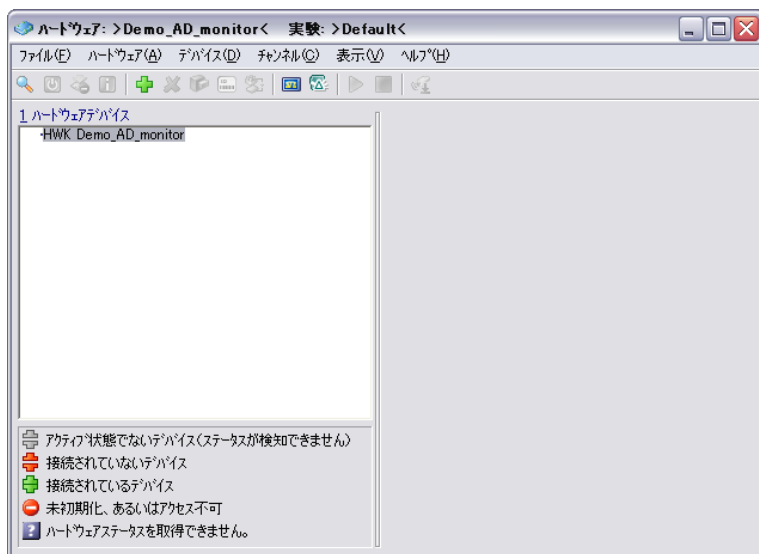
### 2.3 ハードウェア構成の設定

#### ● ハードウェアコンポーネントの追加

##### 1. ワークスペースを選択します。

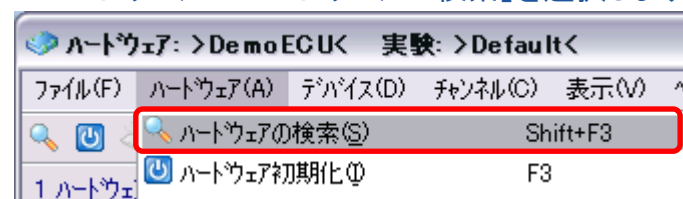
「デバイス→ハードウェアの設定」を選択します。

ハードウェア構成エディタが開きます。



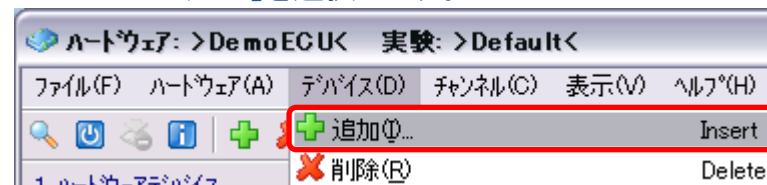
##### 2. ハードウェアが接続されている場合:

「ハードウェア→ハードウェアの検索」を選択します。

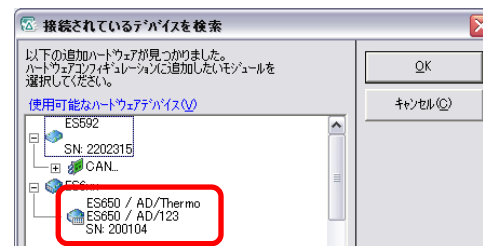


##### ハードウェアが未接続の場合:

「デバイス→追加」を選択します。

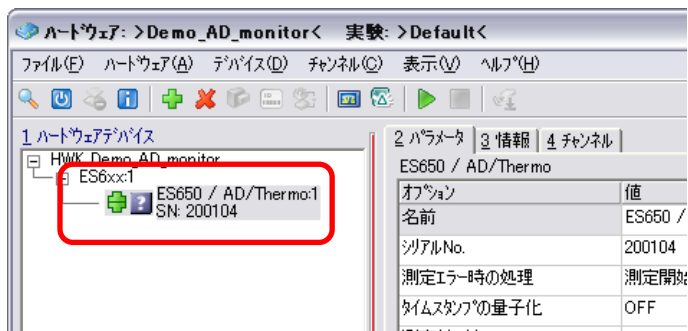


##### 3. 一覧から計測モジュール(例: ES650)を選択します。



### 2.3 ハードウェア構成の設定

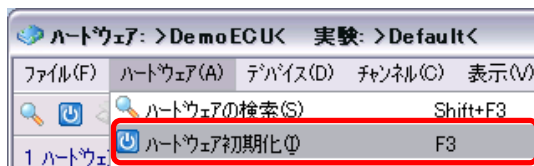
4. コンポーネントが追加されます。



### 2.3 ハードウェア構成の設定

#### ● ハードウェアの初期化

1. 「ハードウェア→ハードウェアの初期化」を選択します。



2. 初期化が正常に終わるとステータスが緑に変更します。



3. ハードウェア構成エディタを閉じます。

#### ● ハードウェアの状態確認(オプション)

1. 「ハードウェア→ハードウェアステータス」を選択します。



2. “ハードウェアステータス”ダイアログでハードウェアの状態を確認できます。

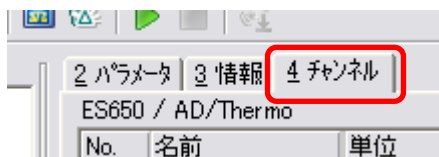




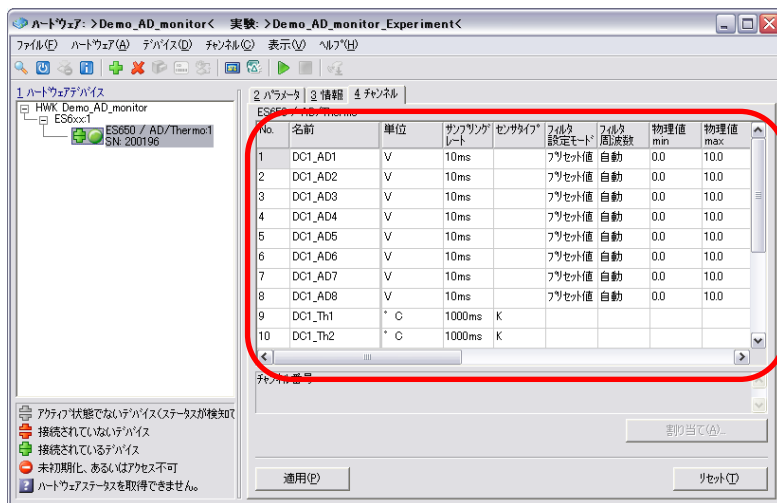
### 2.3 ハードウェア構成の設定

- アナログ電圧入力チャンネルの設定

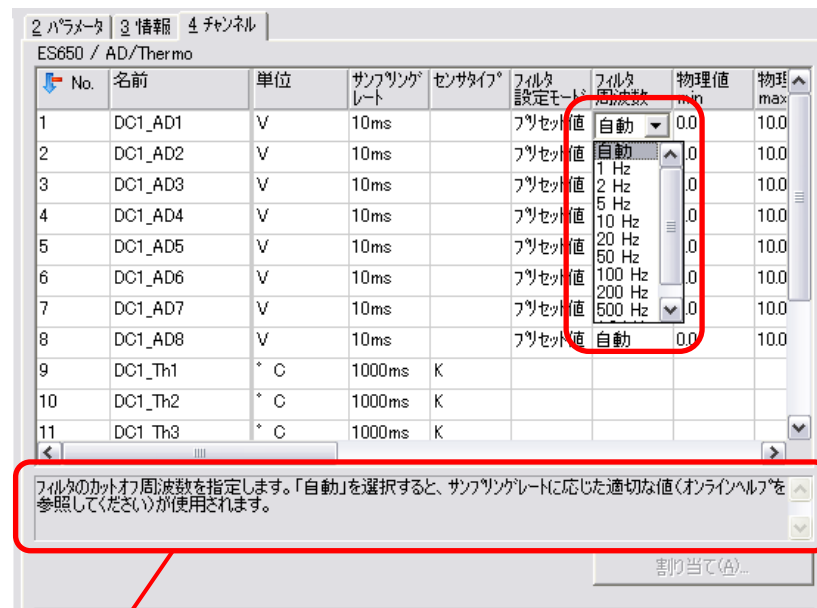
1. 「4 チャンネル」タブを選択します。



2. アナログ電圧入力チャンネルの設定項目が表示されます。



3. 設定項目をクリックして、入力または選択します。



設定項目をクリック(入力状態に)するとチャンネルリスト欄の下に、各項目に応じたヘルプメッセージが表示されます。

### 2.3 ハードウェア構成の設定

#### ● 物理値表示の変換 設定例

1. 実験画面で表示する名前、単位およびサンプリングレート(デフォルト値\*)を変更します。

No.	名前	単位	サンプリングレート	センサタイプ
1	Pressure_A	kPa	10ms	
2	DC1 AD2	V	10ms	

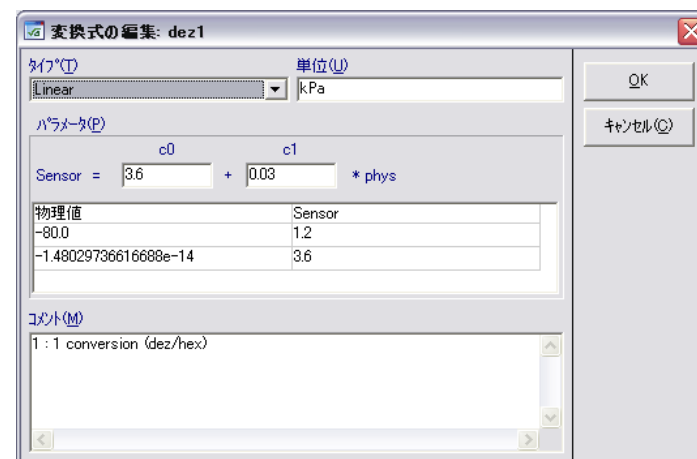
\*ここで指定したサンプリングレートは、実験画面にてデフォルトとして表示されます。実験画面では任意のレートに変更が可能です。

2. 物理値の最小値および最大値と、それぞれ対応するセンサ入力電圧の最小値および最大値を入力します。

物理値 min	物理値 max	センサ min [V]	センサ max [V]	変換式
-80.0	0.0	1.2	3.6	Sensor = 3.6 + 0.03 * phys
0.0	10.0	0.0	10.0	Sensor = phys

入力した値に応じて、物理値とセンサ入力電圧の一次変換式が自動的に設定されます。

3. 変換式をクリックすると表示される「変換式の編集」ダイアログで、変換方法を直接設定することもできます。



信号変換に使用できる変換式には以下のタイプがあります。

- Identity : 変換なし。入力値をそのまま表示
- Linear : 一次関数
- Moebius : 商または逆関数
- Interpolating table : パラメータテーブルによる変換。  
中間値は補完計算される
- Non-interpolating table : パラメータテーブルによる変換。  
中間値は最も近いパラメータに変換

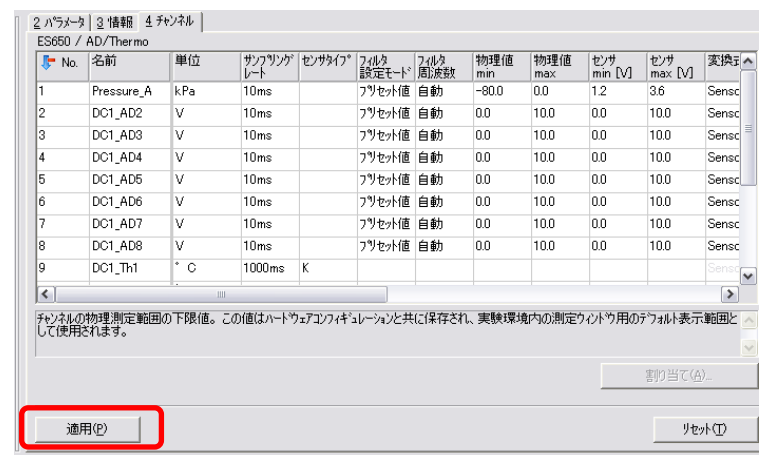
### 2.3 ハードウェア構成の設定

4. 測定範囲の最小値 (min) および最大値 (max) を入力します。



※測定範囲は、実験画面の計測ウィンドウでの表示範囲のデフォルト値として使用されます。実験画面では任意の表示範囲に変更が可能です。

5. 「4 チャンネル」タブ内左下の「適用」ボタンを押して、内容を確定します。



## 3. サポート ホットライン

### お問い合わせ先

---

製品に関するご質問や技術サポート等は、各地域のETAS 支社までお問い合わせください。

#### 日本支社

---

##### 製品に関するご質問

- Phone: (045) 222-0900
- E-mail: [sales.jp@etas.com](mailto:sales.jp@etas.com)

##### 技術サポート(INCAホットライン)

- Phone : (045) 222-0950
- E-mail: [inca.hotline.jp@etas.com](mailto:inca.hotline.jp@etas.com)

#### その他支社

---

各国支社につきましては、ETAS ホームページをご覧ください。

- Germany WWW: <http://www.etas.com/>
- 各国支社 WWW: <http://www.etas.com/ja/contact.php>
- 技術サポートWWW: <http://www.etas.com/ja/hotlines.php>